

# 原動機部 Ene-1 スズカチャレンジ

## 優勝 高校生部門 13 連覇

2025年(令和7年) 12月27日 土曜日 南信州新聞



2つのカテゴリーで優勝した飯田OIDE長姫高原動機部

飯田OIDE長姫高原動機部は、21日に三重県鈴鹿市の鈴鹿サーキットで開かれた、充電式単3乾電池を動力源とする自動車レース「Ene-1スズカチャレンジ」に出場し、製作材料制限なしの二輪車（KV-Moto）の2つの大会があり、ともにコースを周回する3回の計タイムを競う。同部からは車両の製作材料制限なし部門に2台が出場。67台（高校26台）中、「WISDOMII」が高校1位（総合3位）となり、代々引き継がれてきた連覇の記録を更新した。ドライバーを務めた3年生の小池水真さん（18）は「プレッシャーがあった。雨の中のレースで難しいところはあったが、連覇できてホッとしている」と安堵の表情を浮かべた。3回目にタイムを落とし逆転を許したことを悔み、後輩には経

### 鈴鹿大会で高校13連覇

#### OIDE長姫 原動機部 初出場カテゴリーでも優勝

飯田OIDE長姫高校原動機部は、21日に三重県鈴鹿市の鈴鹿サーキットで開かれた、充電式単3乾電池を動力源とする自動車レース「Ene-1スズカチャレンジ」に出場し、製作材料制限なしの二輪車（KV-Moto）の2つの大会があり、ともにコースを周回する3回の計タイムを競う。同部からは車両の製作材料制限なし部門に2台が出場。67台（高校26台）中、「WISDOMII」が高校1位（総合3位）となり、代々引き継がれてきた連覇の記録を更新した。ドライバーを務めた3年生の小池水真さん（18）は「プレッシャーがあった。雨の中のレースで難しいところはあったが、連覇できてホッとしている」と安堵の表情を浮かべた。3回目にタイムを落とし逆転を許したことを悔み、後輩には経

「製作材料カーボン禁止」部門には木製のマシン1台が出場。ドライバーは部長の2年生熊谷漣太さん（17）が務め、全体タイムトップで総合優勝を果たした。昨年創設されたカテゴリーで、今年8月に出場を決め、アルミや樹脂製のマシンより比較的安価で加工しやすい木をベースにしたマシンを製作した。熊谷さんは「製作期間が短く調整不足が懸念されたが、結果が出てうれしかった」と話した。全43台が出場した二輪車の「KV-Moto」部門には、otodiv1（高校14台）には、2年生の小川隼澄さん（同）が出場し、高校3位、総合7位の結果だった。顧問の中村秀一教諭は「茂木の総合優勝、鈴鹿で連覇できたことは自信につながった」と今季を総括した。

初出場

カーボン禁止カテゴリー

# 総合優勝